

史学委員会アーカイブズと社会に関する分科会（第26期・第2回）
議事要旨

日 時：令和6年7月7日（金）19：00～21：00

会 場：オンライン開催

出席者：大橋幸泰、川嶋四郎、芳賀満、飯島渉、飯塚一幸、石居人也、太田尚宏、
奥村弘、長志珠絵、河西秀哉、岸本寛、久留島典子、後藤真、佐野正博、
西田かほる、溝口元、若尾政希（以上、17名）

欠席者：香室結美

<議事>

（1）前回議事録の確認

前回の議事要旨を確認した。

（2）提言「新型コロナウイルス感染症のパンデミックをめぐる資料、記録、記憶の保全と継承のために」フォローアップについて

若尾委員より、提言のフォローアップ報告についての説明があった。飯島委員から提言後の活動と課題についての報告があり、後藤委員からはコロナウイルス感染症関連資料のアーカイブ構築に関する取り組みが示された。

（3）日本学術会議資料について

2020年に出された「日本学術会議資料の保管・管理と公開に向けて」（歴史資料の保存・管理と公開に関する分科会報告）について、若尾委員より報告の経緯と内容の説明があった。大橋委員長からは日本学術会議資料の保管状況についての現地視察報告があり、今後の対応について意見交換をおこなった。

（4）アーカイブズ教育の充実について

大橋委員長より、アーカイブズ教育の充実をはかるため、大学などでの取り組みについて情報収集をおこなうことが提案された。

（5）その他

研究データのオープンアクセスの即時公開について、文化財の防災について、今後の取り組みに関する問題提起があった。